

新型コロナウイルス感染防止対策 による施設利用ハンドブック

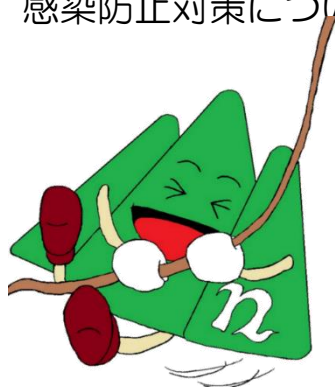
2021.11.20 改訂第7版



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立乗鞍青少年交流の家

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
生活について・・・・・・・・	3
宿泊室等について・・・・・・・・	4
清掃について・・・・・・・・	7
食堂・浴室の使い方・・・・・・・・	9
研修室等の使い方・・・・・・・・	10
活動プログラム・・・・・・・・	11
活動施設一覧・・・・・・・・	13
法人ボランティアの新型コロナウイルス 感染防止対策について・・・・・・・・	14



ご協力
よろしく
お願いいたします

①令和2年 7月 1日 策定
③令和2年12月22日 改訂
⑤令和3年 7月 8日 改訂
⑦令和3年11月20日 改訂

②令和2年 8月26日 改訂
④令和3年 3月22日 改訂
⑥令和3年10月29日 改訂

14ページが、第7版で改訂した箇所です。



はじめに

国立乗鞍青少年交流の家では、「新しい生活様式」に取り組んだうえで、当施設での体験活動を安心・安全かつ有意義に行っていただくために本書を作成しました。

本書は、「利用の手引き」からの変更点と重要事項を抜粋して記載していますので、ここに記載のない項目は、これまでの「利用の手引き」をご確認ください。

なお、国による新たな基準の公表や変更、自治体の要請の変更に伴い、本書は見直し・改訂をしていきますことをご了承ください。

○交流の家で実施している感染防止対策【抜粋】

- ・食堂、談話ホール等、共有スペースについては、所員で定期的に1日に1回消毒及び換気を実施しています。（食堂のみ、使用後は必ず消毒しています。）
- ・トイレと洗面所については、委託業者に依頼し、清掃及び消毒を実施しています。
- ・研修室など、利用団体が使用した場所を消毒できるように、消毒液を活動場所に設置しています。
- ・廊下、研修室前など、館内数か所に、手指用消毒液を設置しています。
- ・「検温チェックシート」「同意書」を利用団体に提出してもらい、感染防止対策が徹底できるようにしています。
- ・本交流の家のホームページで、感染防止対策について随時情報をアップし、最新の対策をお知らせしています。
- ・宿泊室、および活動エリアのスペースにゆとりを持たせるため、宿泊室はできるだけ間隔を空けられるよう配慮しています。
- ・食事開始時刻、入浴開始時刻を団体ごとに指定し、団体同士が接触しないよう配慮しています。
- ・事業の運営協力をする法人ボランティアは、新型コロナウイルスのワクチン接種、抗原検査をして参加することを条件としています。

○利用団体に御協力いただきたいこと【抜粋】

- ・新型コロナウイルス感染症に罹患している可能性のある方は、入所をご遠慮ください。
- ・「利用の手引き」「新型コロナウイルス感染防止対策による施設利用ハンドブック」を熟読し、利用のルールを遵守してください。
- ・新しい生活様式を意識して、生活をしてください。
- ・団体で持参した消毒液・除菌作業用具を使って、活動後は活動場所の消毒を徹底してください。

○携行必需品

※同行される講師、運転手、添乗員、カメラマンにも団体責任者のほうからお伝えください。

□上履き ※館内はすべて土足厳禁。なお、貸出用のスリッパはございません。

□マスク（館内はマスク必須 必要と思われる枚数）

□体温計 ※1日2回（起床時、就寝時）の検温で使します。

□うがい用コップ

□ドライヤー（感染拡大防止のため取り外してあります。必要に応じて）

□ハンカチ（ハンドドライヤーは使用禁止）

□手指消毒薬（各団体で準備）

□消毒液・除菌作業用具（各団体で準備）

□健康保険証

□長袖・長ズボンなど ※屋外でのけが防止、マダニ対策（春から秋の野外活動）

□緊急車両（市内のタクシーも利用可：片道 60 分、約 8,000 円）

※団体で1台あると緊急時の対応に活用できます。



【生活について】

1. 健康管理のお願い

- 入所日の朝、入所者全員の検温を行い「検温チェックシート」の記載・提出してください。
(検温チェックシートはHPの関係書類よりダウンロードできます)
- 1日2回(起床時、就寝時)の検温、健康観察をお願いします。
(毎朝 9:00 ころ検温表を事務室へ提出)
- 発熱、咳、だるさ(倦怠感)等の症状があった場合は、直ちに事務室へ連絡してください。
- 体調不良者には、指定の場所に移動していただくこともあります。

2. 活動中でのお願い

- 館内ではマスクの着用を徹底してください。屋外では活動に合わせて着用してください。
- こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします。
- 3密(密閉・密集・密接)の回避に心がけてください。
館内の各棟及び各活動場所には当面の間の定員を設けます。(宿泊室4ページ 活動施設 13 ページ)
- 館内では、定期的な換気を行ってください。(1時間に5~10分程度)
- 近距離での会話や、大きな声、身体接触の伴う活動はお控えください。
- 屋外であっても十分な距離を取って、活動してください。
- ごみの処理に関しては、団体の責任において処理をお願いします。また、使い捨てのマスクは団体ごとに個別の袋に入れて縛り、ボランティア棟一階のごみ置き場に運んでください。
- 団体の持参した消毒液・除菌作業用具などが不足した場合には、事務室より貸し出します。※使用施設の消毒にご協力をお願いします。
- 食堂での食事後には、各団体でテーブルの消毒をお願いします。(パーティションには消毒液をかけないでください。)



◎原則として、以下の標準生活時間を目安に、活動していただきます。

6:30	7:00 ~ 7:20	7:20 ~ 9:20	8:35 ~	9:00 ~ 12:00	11:30 ~ 13:30	13:00 ~ 17:00	17:00 ~ 19:00	15:00 ~ 22:00	18:00 ~ 22:00	22:00
起床/清掃 検温 (起床時)	清掃	朝食	宿泊室 点検	午前の 活動	昼食	午後の 活動	夕食	入浴	夜の 活動	検温 消灯

- 朝、夕べのつどいは実施いたしません。
- 代表者会は、代表者同士のソーシャルディスタンスを確保しOR室にて16時40分より行います。
- 食堂は座席数を284名定員とし、時間を指定させていただきます。(詳細は9ページ)
- 入浴は、団体同士が重ならないように時間を指定させていただきます。(詳細は9ページ)
- 陸上団体等のシャワー使用については、使用可能時間を延長し7:00~9:00 11:00~12:30とさせていただきます。(夏季)
- 感染防止対策に関わり、食事・入浴時間を割り振りさせていただきます。そのことにより、活動プログラム時間の短縮をお願いすることもありますので、ゆとりをもって計画をしてください。

【宿泊室等について】

1. 宿泊部屋の定員

利用者のスペースにゆとりをもたせるため、宿泊室はできるだけ間隔を空けられるよう配慮します。

宿泊棟	部屋の形体	定員	部屋数	小計	合計定数
宿泊棟 1階	12人部屋（和室 18畳）	6人	2部屋	12人	140人
	7人部屋（和室 10畳）	4人	2部屋	8人	
	12人部屋（12ベッド）	12人	1部屋	12人	
	8人部屋（8ベッド）	8人	6部屋	48人	
	6人部屋（6ベッド）	6人	10部屋	60人	
宿泊棟 2階	12人部屋（12ベッド）	12人	2部屋	24人	80人
	8人部屋（8ベッド）	8人	4部屋	32人	
	6人部屋（6ベッド）	6人	4部屋	24人	
宿泊棟 3階	12人部屋（12ベッド）	12人	2部屋	24人	160人
	8人部屋（8ベッド）	8人	8部屋	64人	
	6人部屋（6ベッド）	6人	12部屋	72人	

※ボランティア棟は傷病者の部屋として活用するので宿泊室として使用できません。

キャンプ場	テントの形態	定員	テント数	小計	合計定数
貸出テント	5人用ドームテント	3人	17	51人	66人
常設テント	10人用常設テント	5人	3	15人	

※持込テントに定員は設けません。各利用団体でソーシャルディスタンスを考慮の上ご使用ください。

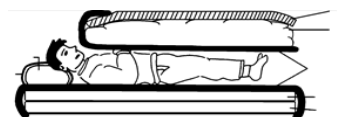
2. 部屋での過ごし方

- ・可能な限りマスクを着用してお過ごしください。
- ・定期的な換気を行ってください。（1時間に5～10分程度）
また、宿泊棟廊下と談話室に設置してある換気用サーキュレーターをご自由に利用ください。（冬季は部屋窓の開閉ができないため、階段踊り場の縦長窓や部屋戸の開閉で換気を行ってください。）
- ・近距離での会話や、大きな声、身体接触を控えてお過ごしください。



【サーキュレーター】

- ・シーツ、枕カバーは図の通りに使い、寝具に直接肌が触れないように適切な利用をお願いします。
- ・濡れタオルをタオルハンガーに干す等、湿度の調整を心がけてください。



3. シーツの返却方法

- ・部屋ごとにシーツ・枕カバーを分け、指定の袋（所に備え付けのごみ袋を使用）に入れて乾燥室前の返却場所へ返却ください。

4. 退所日の点検について

- ・宿泊棟内の整理整頓、清掃については、従来通りの実施をお願いします。
- ・高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵、ベッドのはしごなど）を団体が持参した消毒液等にて消毒作業をしていただきますようご協力ください。

コロナ対応に伴う部屋内配置

6人部屋



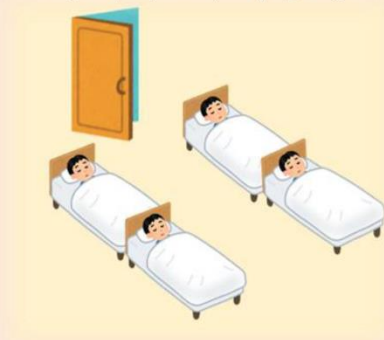
8人部屋



12人部屋



ベッドの部屋は
頭を廊下側に統一して
ベッドメイキング



10畳和室（4人）



18畳和室（6人）



和室は頭を離してベッドメイキング

宿 泊 室 表 *利用者のスペースにゆとりをもたせるため、宿泊室はできるだけ間隔を空けられるよう配慮します。

宿泊室内訳
部屋数51室
1F 101～122 22 室 140 名
2F 201～210 10 室 80 名
3F 301～322 19室 160 名
リーダー室 11 室 22 名

宿泊棟 3 階

リーダー室 L-31 2人 ☎431	303 8人 ベッド8	306 8人 ベッド8	309 8人 ベッド8	312 8人 ベッド8	リーダー室 L-32 2人 ☎432	寝具倉庫 № 2	315 8人 ベッド8	318 8人 ベッド8	321 8人 ベッド8	324 8人 ベッド8	リーダー室 L-34 2人 ☎434							
化粧室(女)	6 ベッド 6人 301	6 ベッド 6人 302	6 ベッド 6人 304	6 ベッド 6人 305	6 ベッド 6人 307	6 ベッド 6人 308	ベッド12 12人 310 311	化粧室(男)	物干場	物干場	ベッド12 12人 313 314	6 ベッド 6人 316	6 ベッド 6人 317	6 ベッド 6人 319	6 ベッド 6人 320	6 ベッド 6人 322	6 ベッド 6人 323	化粧室(男)

宿泊棟 2 階

	本部室 (2) ☎422	公衆電話		リーダー室 L-23 2人 ☎423		リーダー室 L-24 2人 ☎424	202 8人 ベット8	205 8人 ベット8	208 8人 ベット8	210 8人 ベット8	リーダー室 L-25 2人 ☎425	

宿泊棟 1 階

リーダー室 L-11 2人 ☎411	103 4人 (和室) 10畳	104 4人 (和室) 10畳	107 8人 ベッド8	110 8人 ベッド8	リーダー室 L-12 2人 ☎412	↑浴室 洗面所 浴室 洗面所 浴室 洗面所	寝具倉庫 № 1	リーダー室 L-13 2人 ☎413	113 8人 ベッド8	116 8人 ベッド8	119 8人 ベッド8	122 8人 ベッド8	リーダー室 L-14 2人 ☎414				
↑非常口																	
化粧室(男)	(和室) 18畳 6人 101	(和室) 18畳 6人 102	ベッド12 12人 105 106	6 ベッド 6人 108	6 ベッド 6人 109	化粧室(男)	物干場	化粧室(女)	6 ベッド 6人 111	6 ベッド 6人 112	6 ベッド 6人 114	6 ベッド 6人 115	6 ベッド 6人 117	6 ベッド 6人 118	6 ベッド 6人 120	6 ベッド 6人 121	化粧室(女)

【清掃について】 7:00～7:20 *新しい生活様式に準じて行います。

* 清掃場所は、宿泊室の番号で割り当ててあります。（次ページ参照）
 宿泊棟と、他の清掃場所があります。（同じ記号の所が清掃場所です。）

新しい生活様式に照らし合わせ、拭き掃除を行いません。

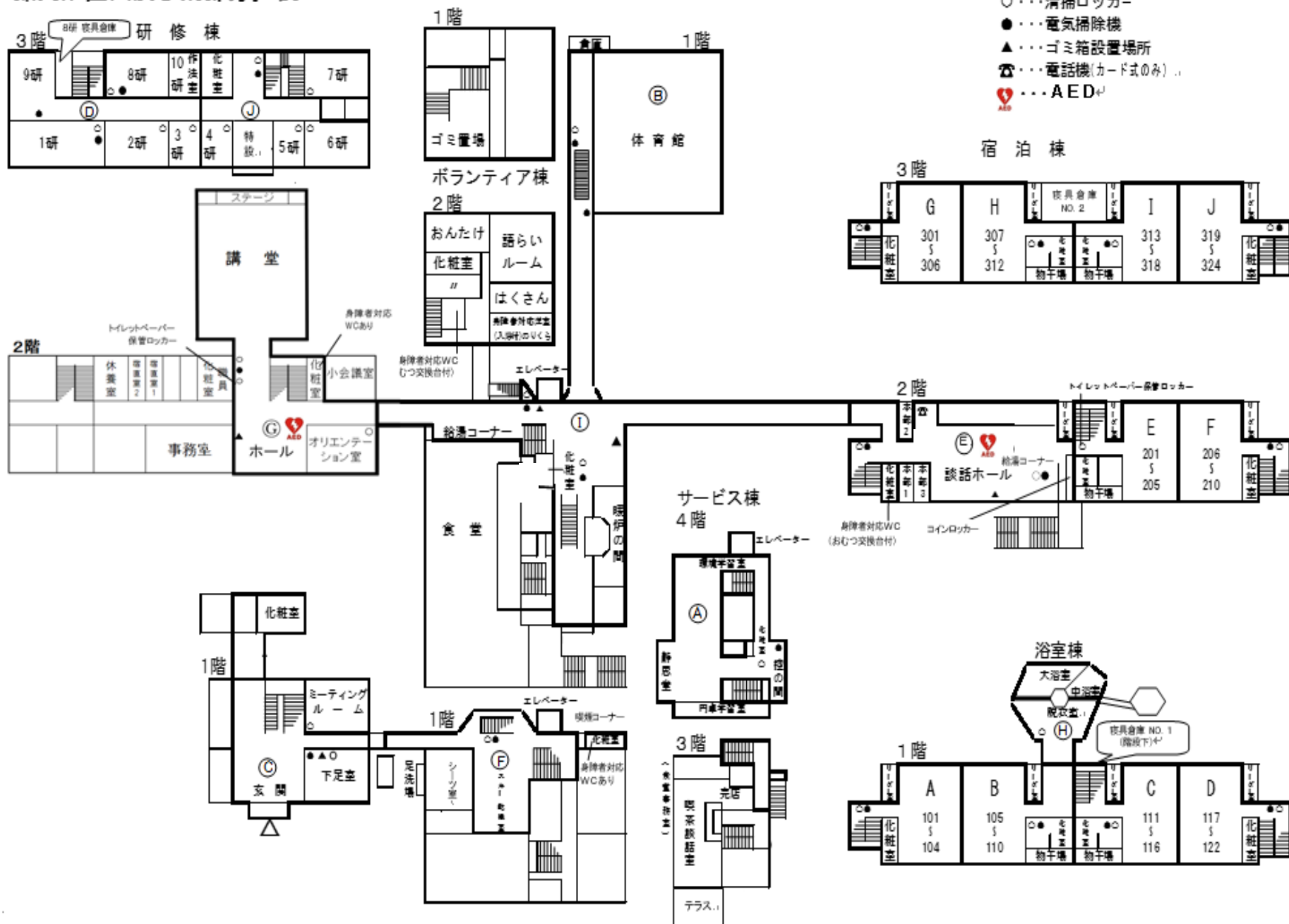
(1) 清掃要領・用具について

	清掃場所	用具	備考
A J (宿泊室)	宿 泊 室	ほうき・ちりと り・雑巾・掃除機	ほうきで掃く。掃除機をかける。 フローリング等を拭く。 スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵、ベッドの はしごなどを消毒（団体引率者）
	階 段 ・ 廊 下	雑巾・掃除機	掃除機をかける。階段は、1 階の人が 2 階から、2 階の人が 3 階から掃き下ろす。
A	サービス棟 4 階	雑巾・掃除機	全フロアー掃除機をかけ、 テーブルを拭く。
B	体 育 館	ほうき・モップ・ 掃除機	モップがけをする。倉庫の整理。カーペットに掃除機をかけ る。
C	玄関前ピロティ	ほうき・モップ・ 雑巾	掃く。汚れのひどい場合は水を流す。（冬は除雪する。）
	下 足 室 ・ 玄 関 内	ほうき・モップ・ 掃除機	マットの土をおとす。掃く。モップで拭く。カーペットに掃除 機をかける。階段を 2 階から掃き下ろす。
D	研 修 室	ほうき・モップ・ 雑巾	黒板の清掃。チョークの補充・モップがけ。 机を拭く。 （畳の 部屋は、和ほうき・掃除機）
E	談 話 ホール	ほうき・モップ・ 掃除機	畳を掃く。モップがけ。 テーブルを拭く。 椅子等の整理。階段 を 3 階から掃き下ろす。ゴミ箱のゴミの回収。
F	スキー乾燥室	ほうき・掃除機	掃く。廊下は掃除機をかける。階段 2 ヶ所は 2 階から掃き下 ろす。
G	2 階ホール ・ 講堂	ほうき・モップ・ 掃除機・ブラシ・ 雑巾・水モップ	モップがけ。掃除機をかける。机・椅子の整理。階段を 3 階 から掃き下ろす。
	オリインテュション室	ほうき・モップ・ 雑巾	黒板の清掃。チョークの補充。掃く。 机を拭く。 整頓する。
H	脱 衣 室	ほうき・雑巾	床を掃く、 拭く。 洗面台の汚れ落とし。脱衣かごを整頓。
I	暖 炉 の 間	ほうき・モップ・ 掃除機・ブラシ・ 雑巾・水モップ	モップがけ。カーペットに掃除機をかける。特に汚れた所は雑 巾がけをする。サービス棟 4 階から階段を掃き下ろす。ゴミ 箱のゴミの回収。
J	研 修 室	ほうき・モップ・ 雑巾	Dに同じ。
	3 階 ホール	ほうき・モップ・ ブラシ・雑巾・ 水モップ	モップがけ。 机を拭く。 椅子の整頓。

(2) ゴミについて

- ・ゴミは、まとめてゴミ袋に入れ、ボランティア棟 1 階のゴミ置き場まで運んでください。
- ・ゴミ箱は、常にゴミ袋をかけてください。ゴミ袋は事務室の前にあります。
- ・発熱者が出た場合は、ボランティア棟が隔離棟となるので、その場合には外ドアからゴ
ミ置き場へ入るように願います。（代表者にその旨をお伝えします。）

館内配置図及び清掃分担表



【食堂の使い方】

- ・感染症対策として座席をパーテーションで仕切らせていただいています。
- ・食事時間については、事前に団体ごとに時間の割り振りをさせていただきますので、時間内でのご利用をお願いします。
- ・配膳等で並ぶ場合は、団体指導者は密集しないよう参加者へ指導をお願いします。
- ・入室前の手洗い、手指の消毒を徹底してください。
- ・配膳レーンは通常通りの使用となりますが、全員のマスク着用をお願いします。
- ・ビュッフェ方式（バイキング方式）での取り分けは、直前に個人ごとに、共用のトングやしゃもじを持つ手にポリエチレン袋を着用し、個人ごとに盛り付けます。（袋は交流の家で準備します）
- ・「ドリンクバー」および「おかわり」は、取り分けの時に使用したポリエチレン袋を着用し、通常通りご利用ください。



【食堂入り口：消毒・袋】



【パーテーションで1席ずつ仕切られた食堂】

- ・摂食の時のみマスクを外し、ポケットなどで保管し食事が終わったらマスクを着用してください。
- ・お食事後には、各団体でテーブルの消毒をお願いします。（台拭き、卓上掃除ブラシ、消毒液は交流の家で準備します。）
- ・使用人数に余裕のある時には3密を避けた座席配置でお座りください。

【浴室の使い方】

- ・入浴時間は 15：00～22：00となります。
- ・入浴時間については、事前に団体ごとに時間の割り振りをさせていただきますので、時間内でのご利用をお願いします。
- ・浴室内でもできる限り間隔をあけてご入浴ください。
- ・感染拡大防止のため、ドライヤーを取り外してあります。
必要に応じて団体でお持ちいただき、使用は洗面所をお願いします。
- ・団体ごとの使用の最後には、備え付けの消毒液を活用し、脱衣場の簡易消毒をお願いします。
- ・団体指導者は、研修生が3密にならないよう指導、配慮をお願いします。



【ドライヤーの撤去】

【活動プログラム】

- ・ 13 ページの活動施設一覧をご覧ください。定員等ご確認ください。
- ・ 机に対して椅子を全席設置しておりますが、使用人数に合わせ、間隔をあけてご使用ください。
- ・ 活動内容、人数を考慮して事前に研修室を指定させていただきます。指定された研修室内での活動をお願いします。
- ・ 1 時間に 1 回（5 分～10 分）程度、2 つの窓やドアを同時に開けるなどし換気を行ってください。
- ・ 研修中はマスク着用をお願いします。入室の際には研修棟 3 階に設置してある消毒液で手指消毒をして入室してください。
- ・ 使用後については、高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵など）や使用したテーブル・椅子等を団体が持参した消毒液にて消毒作業にご協力ください。また、換気効率を高めるため、使用後入り口ドアは開けたままでお願いします。

○事務室

- ・ 多人数で入室しないように入室者を限定（1～2 名程度）してください。
- ・ 物品の貸出・返却についても上記の通り、限定された入室者が行うようにお願いします。



【事務室の様子】

○談話ホールなどの使用について

- ・ 談話ホール、静思堂は十分な間隔をあけて使用してください。
- ・ トレーニングルームは、十分な距離をあけての使用をお願いします。また、トレーニング中は極力会話を控えてください。トレーニング終了後は、使用したマシン、用具の消毒をお願いします。
- ・ 暖炉の間、自動販売機周辺のスペースは、ソーシャルディスタンスを確保して使用していただくようお願いします。



【談話ホールの様子】

- ・ 館内ではマスクの着用を徹底してください。また、ソーシャルディスタンスをお守りください。
- ・ 活動プログラムの実施方法などについては、ご相談ください。

（１）野外活動

- ・休憩中も、ソーシャルディスタンスを確保してください。
- ・野外でも活動により無理のない範囲でマスクの着用をお願いします。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
登山	標高 1,956m の山頂への登山ができます。標高差 446m、片道約 6km のコース。	丸黒山	5～6 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
ハイキング	①御岳見晴台東屋往復(3km) ②カブト山往復(4～7km) ③カブト山～わらび平(7km)	当施設周辺	①1.5～2.5 時間 ②3～4 時間 ③3～4 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
オリエンテーリング	グループで定められたポストを探し課題解決を競う。 ①スコア OL ②野外炊事 OL	当施設周辺	①3～6 時間 ②1～2 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
野外炊事	グループで役割分担をしながら協力して食事を作ることで責任感や協調性を養います。	キャンプ場	5～6 時間 (180 名程度)	かまど・炊事場では、順番で作業し、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。（※１）
自然観察	植物や動物の生態、地形や水の流れ、雪や星座などを対象に楽しみを記憶の延長として残します。	当施設敷地内	1～2 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

※１ 野外炊事場では、ソーシャルディスタンスの確保ができるように簡易机を 16 準備しております。ご活用ください。

（２）スポーツ活動・雪を利用した活動

- ・野外でも活動により無理のない範囲でマスクの着用をお願いします。
- ・道具の持ち出し、返却は職員が立ち会います。

（３）交流・交歓を深める活動

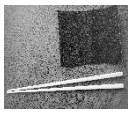
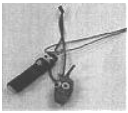
プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
キャンドルのつどい	燭台の火の光と闇のコントラスト、静寂さと揺らめく炎、厳粛な雰囲気の中で、仲間との連帯感と活動への情熱を喚起する。	①体育館 ②講堂	2～3 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
ファイヤーのつどい	夜の闇の中で赤々と燃えさかる炎、揺らめく炎と周りの闇。様々な表情を見せる炎の前で、お互いに協力することにより協調性を養う。	①白樺宮火場 ②やまずみ宮火場 ③からまつ宮火場	2～3 時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

（４）視聴覚教材による活動

- ・道具の持ち出し、返却は職員が立ち会います。
- ・活動施設実施可能人数をご確認ください。

(5) 創作活動（クラフト）

- ・すべて材料費が必要なプログラムです。
- ・利用団体同士で道具、材料の貸し借りはしないでください。
- ・道具、材料の持ち出し、返却は職員が立ち会います。
- ・マスクを着用しての研修をお願いしております。

	名称・時間	イメージ	可能人数	料 金	作 り 方	団体で準備	備 考
1	木製写真立て 1～2時間		200 人	270 円 板	10×20×1cmの板を使って、ペンやバーニングペンなどで絵や字を書く。	写真 糸ゴム	雨天時プログラムとして活用できる。 (当日キャンセル可能) *コロナ対応 ソーシャル ディスタンスの確保をお願いします。
2	コースター 1～2時間		200 人	320 円 コースター板	8～10cmのタモ材などの輪切りの木に、バーニングペンで字や絵をかく。	筆記用具 ※下絵を準備するとスムーズ	
3	キーホルダー 2時間		200 人	320 円 木片 & 金具セット	5×5×0.5cmの木片を削ったり磨いたりして、好きな形を作る。	※下絵を準備するとスムーズ	
4	ストラップ 2時間		200 人	270 円 木片 & ストラップセット	1.5×7×1cmの木片を削り、好きな模様や字をかく。		
5	アースアート 1～3時間		200 人	320 円 コースター板	コースターと同じものを使用。載せる材料は自分で森の中から拾ってくる。	ボンド スティックボンド (食堂別売り有り 100 円)	
6	My はし 30 分～1 時間		200 人	190 円 サンドペーパー付	四角柱の材料をサンドペーパーで削る(面取り)。		
7	のりくら人形 1～2時間		200 人	100 円 目玉 & ヒートンひもセット	材料は自分で森の中から好きなものを拾ってくる。目玉をつけて人形にする。	ボンド	雨天時プログラムとしては活用できない。 (必ず実施)

お願い

- 材料準備のため、ご利用2週間前には食堂事務室に連絡をしてください。 Tel.0577-31-1007
- 「7. のりくら人形」は雨用の代替プログラムにはしないでください。(必ず実施のプログラム)
直前の人数変更で使わない分や実施できなかった場合は、材料買取りでお持ち帰りください。
- 持ち込みの材料がある場合は、事前の打ち合わせをお願いします。

※ 詳しい内容は「乗鞍青少年交流の家」ホームページのTOPページにある「活動紹介」のプルダウンリスト → 「創作・館内活動」より「クラフト」をご覧ください。

※ 冬季(12月～3月)は、3.キーホルダーは実施いたしません。

【活動施設一覧】

マスクを着用しての活動をお願いします。

名称	定員	設備・備品
管理研修棟		
1 研	126	机 3 人用 (42) プロジェクター及びプラズマディスプレイ (DVD・VD)・放送設備
2 研	72	机 3 人用 (24) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
3 研	40	机 4 人用 (4)・3 人用 (8) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
4 研	40	机 4 人用 (4)・3 人用 (8) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
5 研	40	机 4 人用 (4)・3 人用 (8) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
6 研	72	机 3 人用 (24) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
7 研	54	机 3 人用 (18) プラズマディスプレイ (DVD・VD)
8 研 (和室)	30	座卓 16 (3×16)・30 畳
9 研 (和室)	54	座卓 24 (3×24)・54 畳
10 研 (作法室)	3	12 畳
特 設 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 室	40	使用不可
	60	椅子 120 机 3 人用 (28) プラズマディスプレイ (DVD・VD・PC) 机利用の場合は定員 21 名
サービス棟		
円卓学習室	20	テーブルあるいは机
暖 炉 の 間	30	じゅうたん敷き
食 堂	284	テーブル 52・椅子 284
喫茶談話室	60	テーブル 15・15 畳
環境学習室		地形模型等
静 思 堂		35 畳
控 の 間		28 畳
宿泊棟		
1 階	4 ページ参照	140 人
2 階		80 人
3 階		160 人
リーダー室		11 室 和室 22 人
本部室		3 室
浴室		2 室
談話ホール		60 畳、ソファールーム

名称	定員	設備・備品
体 育 館 縦 35m×横 28m		1,100㎡・放送設備（CD・ワイヤレスマイク） クライミングウォール スクリーン・電子オルガン・電子ピアノ
講 堂 縦 20m×横 18m	最大 400	椅子 450・プロジェクター 放送設備（CD・DVD・PC・MD・ワイヤレスマイク）・電子オルガン・ピアノ
ボランティア棟		語らいルーム・身障者対応洋室等
名称	設備・備品	
スポーツ活動		
体 育 館	バレーボールコート バスケットボールコート バドミントンコート ハンドボールゴール（仮設2） 卓球台（2） クライミングウォール 公認レスリングマット	
	各種トレーニング機器	
	フットサル	
グラウンド 縦 130m×横 65m	ソフトボール 陸上競技 （高地トレーニングウッドチップコース等） グラウンドゴルフ	
野外活動		
白 樺 火 場 やますみ火場	照明・ワイヤレスマイク（各2本）・放送設備（CD・カセット）・ファイヤーベース・水道設備	
乗鞍青少年交流の家周辺	ディスクスローイング・ゴルフ クレースピードコース オリエンテーリングコース（4コース 55ポイント） 高地トレーニングコース各種 （詳細はP17 参照） 初心者ゲレンデ ソリゲレンデ 遊歩道・ハイキングコース キャンプ場・・・宿泊66名 炊事場・・・・・・約 180 名 登山コース（丸黒山） 市営飛騨高山スキー場 市営飛騨高山キャンプ場 市営 ^{せつじょう} 城 グラウンド わらび平展望公園	
	貸出物品	
カプラ・ドミノ・デジタルタイマー（試合用） 天体望遠鏡・大型双眼鏡・双眼鏡・星座早見盤 移動式プロジェクター・CD・ポータブルワイヤレスマイク スノーシュー・輪かんじき・オーバーシューズ キャンドルサービス燭台・衣装・キーボード		

※いす・机などの備品について使用不可の表示があるものは、触れないようにお願いします。

※教材庫や倉庫の備品を使用の際には、必ず事務室へお声かけください。

【法人ボランティアの新型コロナウイルス感染防止対策について】

○法人ボランティアの運営協力の条件

教育事業などに運営協力する法人ボランティアは、新型コロナウイルス感染防止のために、以下の条件を満たした方に限っています。

- (1) 新型コロナウイルスのワクチン接種を2回受けてから、3週間以上経っている。
- (2) 新型コロナウイルスの抗原検査を入所時に行い、結果が陰性である。
- (3) 入所2週間前から発熱等の体調不良がなく、健康である。

○法人ボランティアの認定について

国立青少年教育振興機構では、教育事業などの運営協力に携わる法人ボランティアを認定しています。

法人ボランティアになるためには、本機構の「法人ボランティア養成セミナー」の受講が条件となっております。セミナーでは、ボランティアとして運営協力を行う際の知識・技能の向上を図る講義と実習を受けています。よって、本機構の事業に参加する法人ボランティアは、研修団体の利用者や事業の参加者の皆様が安全かつ楽しく活動できるように支援することができます。

○法人ボランティアの打合せについて

運営協力をする法人ボランティアは、事業実施前に入所し、本機構職員から事業趣旨について説明を受けています。運営協力のための打合せでは、参加者に対して配慮することや、支援する内容などについて綿密に相談しています。

一緒に活動しながら
支援します。

安全に配慮して活動
します。

楽しく活動できるよ
うに盛り上げます。



令和2年度アドベンチャーキャンプの様子



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構



申し込み・問い合わせ

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立乗鞍青少年交流の家

〒506-0815 岐阜県高山市岩井町913-13

TEL 0577-31-1013 FAX 0577-31-1025

E-Mail norikura@niye.go.jp

ホームページ <https://norikura.niye.go.jp/norikura/>

